

東日本大震災支援募金 432,215 円 (5/02 現在)

4/27・28は福島県・浜通り医療生協震災支援に！

全日本民医連では宮城・岩手支援と合わせて福島県小名浜市の支援活動を開始しました。4/25～30が支援期間と設定されました。4/22の急な要請でしたが各法人で検討頂き、茨城民医連から28日に木村冬樹さん、五町英子さん、本田恵子さん、岡部佳代子さん、29日に恩蔵正幸さん、簾内信行さん、片岡洋子さん、金子卓也さんの8名が参加しました。小名浜生協病院は建物の被害はほとんどなかったものの、水道が1カ月以上止まり、職員が毎日浄水場まで1.5トンの水を汲みに行き、患者さんの入院生活を維持しました。今回の支援は、主に復興にむけて、地域の組合員さんの状況把握を行い、困りごとや要求を聞きとることでした。また支援者で編成された「お助け隊」は、市内の生協組合員宅を訪問し、倒れたブロック塀の撤去や家の片づけ、床下浸水した家の畳を上げて床板をはがすなどの仕事を行いました



撮影：恩蔵正幸さん

◇第3次宮城支援チーム4/26(火)午後～29(金)が帰ってきました！！

佐藤さん(城南病院 x-p 科)・柴田さん(城南病院 4 病棟)・山根さん・藤田さん(城南病院 リハ科) が宮城支援を終了し戻りました。現地の活動は、佐藤さんは初めての足浴チーム、柴田さんは友の会訪問。山根さんと藤田さんはセラピスト集団で編成されるリハチームに加わり、避難所で生活される方々のADL向上や寝たきり防止を目的としたリハビリを行いました。また中山は24日～30日まで現地対策本部の避難所ブースで全国の支援者の受け入れを行いました。

